

尾ノ上の風 III

第10号

学ぶ きたえる 助け合う

文責：校長 村上 正祐



水遊び・水泳の学習 始めました

今週からプールの学習をスタートしています。子どもたちの体力や運動能力の発達を考えると、昨年に続き2年間、水泳の学習をしないことの弊害が大きいと考えています。

今週は連日暑い日だったこともあり、水泳の学習をスタートするにはよかったと思います。ただ、例年と違ってコロナ感染防止のため、職員は神経を使いながら指導しています。

例えば、着替えの場所も部屋を複数使って、密にならないよう分散をさせています。また、バスタオルも一人一つずつロッカーの中に入れるか、写真のように見学場所のテントの手すりにクリップでとめています。

そのほかにも、今年度は出来る限りゴーグルを使うように推奨しています。プールの中ではマスクができません。しゃべらないように促してはいますが、どうしても声が出てしまうことがあり、感染リスクを少しでも避けるためにゴーグルを推奨しています。

今年は、昨年泳いでいない分しっかりと水に慣れることや体力づくりを進めてもらいたいと思っています。



尾ノ上小の「おのポップ」をよろしく

尾ノ上小では、4月から5月にかけて、各学級や職員でどんな学校にしたいかを考えてもらい、その結果「みんなが楽しく、笑顔になれるように」という目標を決めました。本年度は、その目標に向けて、5・6年生を中心に取り組んでいます。

委員会活動では、6年生を中心に5年生と力を合わせて取り組んでいます。

5月に各委員会の委員長に校長室に集まってもらってどんな尾ノ上にしたいかを聞いたところ、それぞれの委員会ですることをしっかり考えて目標を発言していて、本当に頼もしく感じました。その頑張りや尾ノ上小みんなで盛り上げていくために、今回のキャラクターに活躍してもらおうということになりました。このキャラクターは、尾ノ上小を巣立っていった6年生たちが中心になって作ってくれたものです。先日の代表委員会では「おのポップ」の活用をみんなで考えてくれました。その活用法のアイデアの一つが学校だよりで使ってほしいということでした。これからは「おのポップ」に度々登場してもらおうと思っています。

